

## 6番 繁昌 誠吾 議員

## 1 税制について

## (1) 都市計画税について

① 都市計画税については、合併後、幾度となく議論されてきたが、先日、市民の方から「不公平で納得できるものではない」との声が届いた。都市計画税についてこれまでの検討結果及び今後の在り方について示されたい。

また、都市計画区域についても検討・見直しをすると答弁されているが、検討結果と今後の方針を示されたい。

## 2 法人指導監査について

## (1) 社会福祉法人の不正会計問題について

① 令和3年3月定例会において、理事等の解任については「人事に関する組織内の案件であり、法人の責任において意思決定の判断が行われるものであると認識している」との答弁であった。理事の辞任については社会福祉法で規定されていると思うが、見解に変わりはないか。

また、当法人の不正会計問題についての監査の現状と、今後の対応を示されたい。

## 3 観光行政について

## (1) おおすみ観光未来会議の今後について

① 先月末、観光庁による「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」をおおすみ観光未来会議が受託したことが公表された。実証事業の目的と、この実証事業が大隅地域の広域観光にどう活かされるのか、見解を示されたい。

また、この実証事業に大隅広域観光開発推進会議はどのように関わっていくのか示されたい。

② 令和4年4月の更新審査に対する質問に対して、3月定例会において「登録要件を満たしており、更新について問題はない」と答弁したが、更新できなかった場合は誰が責任をとるのか、見解を示されたい。

また、未だにクルーズ船をターゲットにしている計画のようであるが、コロナ禍におけるクルーズ船の今後の見通しと、取組を示されたい。